

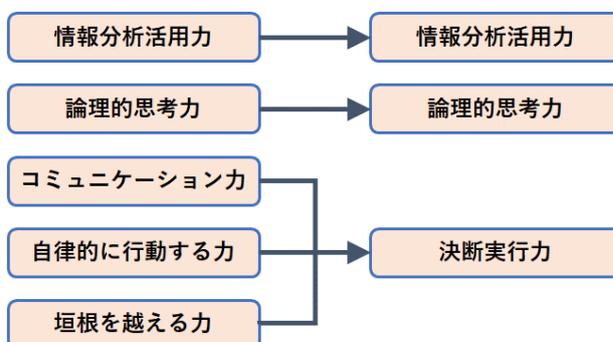
i コンピテンシーの紹介

本校では生徒に身につけてもらう資質能力を i コンピテンシーと定めており、授業や学校行事でその力を育成します。

今年度から SSH「先導的改革期」に採択されました。昨年度から第IV期の i コンピテンシーを「情報分析活用力、論理的思考力、決断実行力」に整理しました。

「情報分析活用力、論理的思考力」は継続して

育成することとし、「コミュニケーション力、自律的に行動する力、垣根を越える力」は非認知能力として統合して「決断実行力」として育成することとしました。さらに3つの i コンピテンシーには、それぞれ5つずつの下位指標をつくり、目標が明確になるように指しています。



I 情報分析活用力	I-1	情報収集力	課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる。
	I-2	情報活用力	情報収集のための具体的な方法・手段をいくつか考えることができる。
	I-3	情報分析力	情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる。
	I-4	情報評価力	情報の真偽を判断し、確かな情報に基づいて結論を導くことができる。
	I-5	情報表現力	集めた情報を表やグラフ等を用いて数量的に表すことができる。
II 論理的思考力	II-1	判断力	物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。
	II-2	批判力	他者の主張に対して、誤りの有無を判断することができる。
	II-3	根拠提示力	自己の主張に対して、必要な根拠を示すことができる。
	II-4	説明力	「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。
	II-5	構成力	「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。
III 決断実行力	III-1	コミュニケーション力	対話による議論ができ、意見をまとめることができる。
	III-2	対話力	伝えたい内容・相手に応じて正確に効果的に伝えることができる。
	III-3	協働計画力	目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする。
	III-4	自己責任力	自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。
	III-5	挑戦力	自分の限界に挑戦しようとする。